団体

2023 年　　月　　日

公益財団法人　韓昌祐・哲文化財団

2023 年度助成申請書

公益財団法人　韓昌祐・哲文化財団
理事長　韓裕　　殿

貴財団の助成を希望いたしますので、この文書にて申請いたします。（申請書が 5 枚を超えないよう枠内に記入すること）

【 1 】申請者

団体名・職位			顔写真 貼り付け
代表者名	フリガナ		
代表者の職業・職位			
代表者生年月日	年　　月　　日		
代表者ご住所	〒		
代表者ご連絡先	TEL：　　FAX：		
	携帯番号：　　メールアドレス：		
団体のご住所	〒 TEL：		
国籍		在留資格（外国人の場合）	

【 2 】活動の題目（簡潔に記入すること）

【 3 】助成計画達成期限

達成期限	年　　月　　日

【 4 】成果の発表方法（具体的に）

【 5 】申請金額

円

【６】代表者の経歴（学歴や職歴を時系列で）

年　　月	

【７】代表者個人の活動･実績（時系列で、簡潔に）

年　　月	

【８】団体の経歴（時系列で）

年　　月	

【９】団体の活動・実績（時系列で）

年　　月	

【１０】活動の目的と内容

【１１】助成計画のスケジュール（1 年～2 年）

2024 年 3 月中	助成証書授与式
年　　月　　日	助成計画達成期限

【１２】助成金の使途および収支予算（具体的に記入すること）

申請金額　　円

【１３】本財団および本助成事業の情報をどこから得られたかを教えてください（できるだけ具体的に記入すること）

－ 本財団の方針 －

・本財団は１年あるいは最大２年で成果を出す活動を助成対象とする。
・選考委員会を通過した助成対象者は本財団と誓約書を交わした後、正式に助成受贈者とする。
・申請書以外の助成金の使途が発覚した場合、助成金は即時全額返還することになる。
・助成計画を途中で変更する場合、速やかに事務局に連絡し、変更内容が認められた助成計画のみ変更を許可する。
・助成計画達成期限は、守らねばならない。
・助成計画達成から３カ月以内に「活動報告書」及び「収支報告書」を提出しなければならない。
・助成金に残金が発生した場合、本財団に返還しなければならない。